

千葉教育

蓮

令和3年度
No.668

千葉の子どもたちの未来のために

特集

防災教育の推進

○シリーズ 現代の教育事情

県教育庁教育振興部学校安全保健課

白子町教育委員会

匝瑳市立野栄中学校

○就任あいさつ

千葉県教育委員会教育長

富塚 昌子



千葉県総合教育センター

◆学校自慢 ソニー子ども科学教育プログラム『最優秀校』に輝く

旭市教育委員会教育総務課学校教育指導室長（前旭市立干潟中学校長） 齊藤 実

◆就任あいさつ 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」の実現を目指して～新しい時代を生きる「生きる力」の育成～

千葉県教育委員会教育長 富塚 昌子…2

シリーズ 現代の教育事情 防災教育の推進

- 防災教育の推進 県教育庁教育振興部学校安全保健課…4
- 白子町の防災教育 白子町教育委員会…6
- 体験活動を通し防災意識を高め、自主的に考え行動できる生徒の育成 匝瑳市立野栄中学校教諭 佐久間翔平…8

私の教師道

- 学校を創る 館山小学校の挑戦 館山市立館山小学校校長 相良 和久…10
- 学校を支える すべての子供たちの笑顔のために 匝瑳市立八日市場小学校教頭 竹澤 勲…12
- 学校を動かす 学校教育目標の実現を目指して 我孫子市立我孫子第一小学校主幹教諭 岡田恵理子…14
- 子供を知る 「日々笑顔」で児童と学び続ける 八街市立実住小学校教諭 寺島 颯汰…15
- 子供を知る コロナ禍だからこそ いすみ市立中根小学校養護教諭 菅澤 美幸…15
- 授業を創る タブレット端末と電子黒板活用の日常化を目指して～実践を通して感じた児童の成長～ 市原市立牧園小学校教諭 阿久津大貴…16
- 授業を創る 低学年における「コーディネーション能力」と「思考力、判断力、表現力等」を育む 御宿町立御宿小学校教諭 喜多原直哉…18

活・研究

- 令和2年度長期研修生 研究主題一覧 県総合教育センター研修企画部…20
- 長期研修制度の概要 県総合教育センター研修企画部…22
- 令和2年度長期研修生の研究の概要について 県総合教育センター総務課・令和2年度長期研修生…23

ケーススタディ

- 児童虐待への対応について 和洋女子大学特任教授 柴内 靖…24

幼児教育の現場から

- 千葉聾学校幼稚部について 県立千葉聾学校教諭 手塚 清…26

教育の情報化

- 学校教育における著作権～授業目的公衆送信補償金制度と情報モラルとしての著作権教育～ 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当…27

情報アラカルト

- 「学校教育の充実のためのホームページ」について 県教育庁教育振興部学習指導課…28
- 児童虐待の早期発見・早期対応に向けて～「教職員のための児童虐待対応の手引き」の活用～ 県教育庁教育振興部児童生徒課…29
- 不祥事防止対策有識者会議～アップデートで不祥事防止～ 県教育庁教育振興部教職員課…30
- 令和3年度夏の展示「うみ鳥つば [umi-Trip] -海鳥とめぐる島の旅・半島の旅-」 県立中央博物館…31
- 令和3年度中央博物館分館海の博物館収蔵資料展「イカ展」 県立中央博物館分館海の博物館…32
- 『千葉教育』編集部からのお知らせ 県総合教育センター総務課…33

学校 NOW !

- 我が校の実践 長生特別支援学校の防災教育 県立長生特別支援学校主幹教諭 埴谷 貞二…34
- 学校歳時記 「令和の日本型学校教育」と高等学校改革 千葉大学名誉教授 天笠 茂…36
- ◆発信！特別支援教育 障害のある子供の支援をする教職員の方へ～特別支援教育に係る専門性向上のためのeラーニング研修の紹介～ 県総合教育センター特別支援教育部…38
- ◆千葉歴史の散歩道 千葉市餅ヶ崎遺跡－縄文時代中期終末から後期初頭の大規模集落－ 県教育庁教育振興部文化財課文化財主事 小澤 政彦

道 標

東日本大震災の発生から10年が経過した。この間も多くの自然災害が発生し各地に甚大な被害をもたらした。

国は、「学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き」（2012年）や「学校防災のための参考資料『生きる力』を育む防災教育の展開」（2013年）を作成し各学校に配付した。本県においても、県教育委員会学校安全保健課が、「学校における地震防災マニュアル」を作成し、全校に配付するとともに、「命の大切さを考える防災教育公開事業（学校安全総合支援事業）」を開催するなど、防災教育の推進に努めている。

2019年10月には、「大川小学校津波事件」の仙台

高裁判決が最高裁で確定し、学校における危機管理マニュアルの作成に高いレベルの知識と経験が求められることとなった。安全・安心な学校環境づくりを進め、子供たちに命の大切さや命を守る術を教えることは教育関係者の責務であり、学校で何よりも優先されるべきものが子供たちの命であることには、誰も異論はないはずである。

折しも本年2月には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組む中、東日本大震災の余震と見られる最大震度6強の地震が発生した。「天災は忘れた頃にやってくる」と言う。本号の特集が、今後の取組に向けて考えを深める一助となれば幸いである。